

PRESS RELEASE

[報道関係資料]

2020年 9月 11日
株式会社 KEI アドバンス
一般社団法人 大学スポーツ協会

河合塾グループ KEI アドバンス、2021 年春、大学へ進学する 運動部学生を対象にUNIVASと共同で 入学前教育プログラムを加盟大学へ提供！！

スポーツを題材にした取り組みやすい教材や、勉強の重要性がわかる教材等
より運動部学生に寄り添ったプログラムをUNIVASと共同開発！

河合塾グループの株式会社KEIアドバンス(本社:東京都千代田区、代表取締役 矢島敏男)は、一般社団法人大学スポーツ協会(本社:東京都千代田区、会長:鎌田薫、以下 UNIVAS)と共同で、永年蓄積された教育プログラムノウハウを生かし、2021年春に大学へ進学するスポーツ運動部学生向けに開発した「入学前教育プログラム」を加盟大学へ提供し、入学前教育をサポートします。



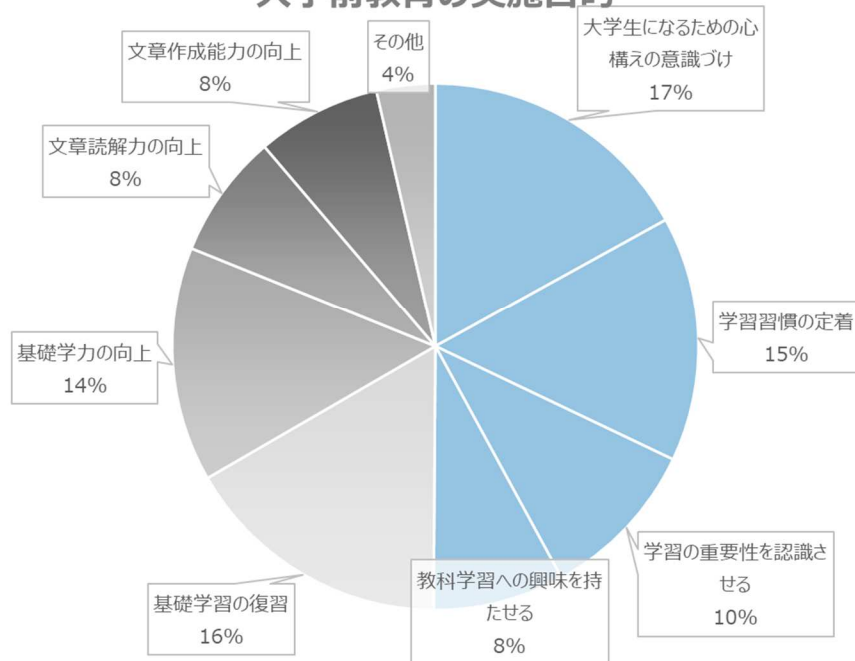
昨今、スポーツ活動を重視した「総合型選抜」や「学校推薦型選抜」等で合格した高校生に対して、入学後の学生生活にスムーズに移行できるように、大学入学までの期間に実施する入学前教育の重要性が注目されています。2020年7月中旬時点で、UNIVAS加盟大学のうちスポーツ活動を重視した「総合型選抜」や「学校推薦型選抜」の実施を発表している大学は60.4%とその割合は多く、UNIVASとアカデミックパートナー企業のKEIアドバンスは昨年度より運動部学生に寄り添った入学前教育プログラムの実証調査を行っております。

今年度は、昨年度の実証調査で行った結果を踏まえ、幅広い学力の学生に対応するコース設定や、運動部学生が学びに関して興味を持ってもらえるようスポーツを題材にしたプログラム開発など、幅広いニーズに対応できる教材を準備しました。

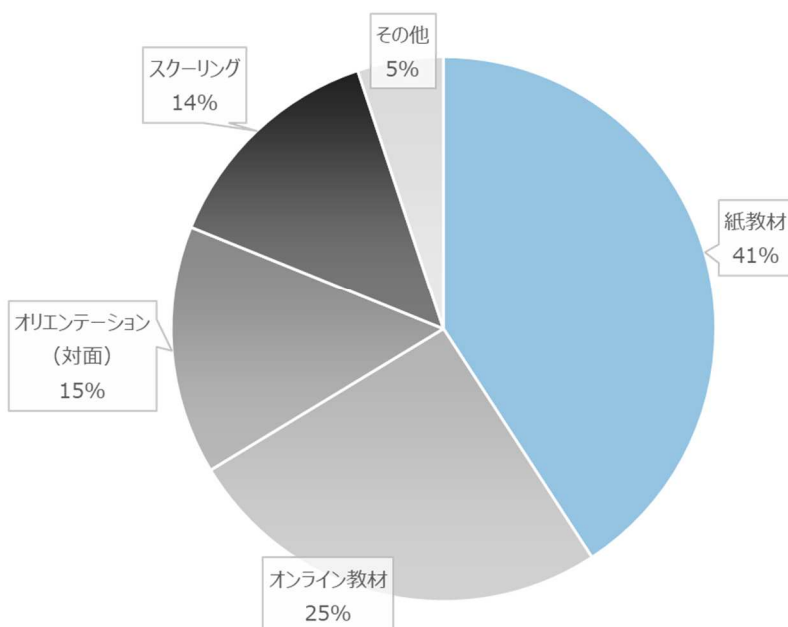
大学へ入学する運動部学生が、スポーツだけでなく、学びへの動機付けを行い、大学生活で意欲的に学修に取り組んでもらう環境を整えます。

◇2019 年度入学前教育に関するアンケート(抜粋)

入学前教育の実施目的



入学前教育の受講形態・媒体



■調査対象:UNIVAS 加盟 222 大学

■調査期間:2020 年 5 月～同年 6 月

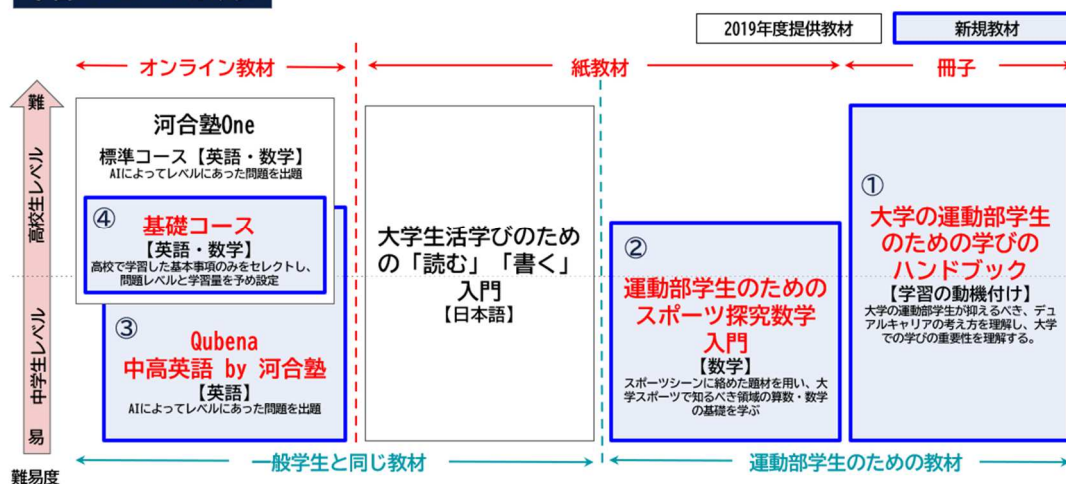
■回答状況:回答大学数 123 大学、回答率 55.4%

加盟大学向けアンケートより、入学前教育の実施目的は「学びへの意欲」の向上や「教科学習への興味」を持たせることなどを求められていることがわかりました。また、現在は紙教材も取り入れやすいという結果になったことを受けて、今年度の入学前教育プログラムの開発に着手しました。

◇2020 年度入学前教育プログラム

●入学前教育プログラムの概要

学習メニューの分類表



本プログラムでは、運動部学生が入学後にスムーズに進むことができるよう、各種教材を加盟大学に提供し、大学における入学前教育をサポートします。具体的には、基礎教科学力養成を目的として河合塾の指導ノウハウを活用したAI教育サービス『河合塾One(英語・数学)』や『Qubena 中高英語 by 河合塾(英語)』及び、日本語力養成を目的に入学後に必要な“文献・文章等を読み、その内容について自ら考えレポートを書くための力”を育成する『大学生生活学びのための読む書く入門』に加え、運動部学生により寄り添った教材『大学の運動部学生のための学びのハンドブック』『運動部学生のためのスポーツ探究数学入門』を開発・加盟大学へ提供します。

また、実施前と実施後にて学力判定テストを実施し、実施前後のテスト結果を比較することで学力伸長を把握します。オプションとして、希望者には KEI アドバンスによる LINE を用いた学習フォローも実施します。

◇対象者:スポーツ活動を重視した「総合型選抜」や「学校推薦型選抜」等で合格した高校3年生

◇実施期間:2021年1月-3月末日

◇実施科目:数学・英語・国語

◇募集期間:2020年10月上旬-11月下旬を予定

◇2020 年度新規教材

① 「勉強の重要性を理解させるための導入編」を加えた教材の開発 「大学の運動部学生のための学びのハンドブック」

特徴	「学びへの意欲」を高めるための、多様な知的刺激を盛りこんだ、画期的な1冊。 「競技活動との両立」を意識した、運動部学生に最適な「学びサポート・ブック」です。	
先輩アスリートのインタビューや性格診断など、多様な知的刺激を通して、運動部学生の「学び意欲」を向上させるものです。	■ハンドブックの構成（予定） <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 巻頭特集 先輩アスリートインタビュー 著名アスリートが大学時代の「学び体験」を語る </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> PART I デュアルキャリアと「3つの学び」 ①デュアルキャリアとは ②「3つの学び」とは ・学業 ・競技活動の学び ・職業生活への学び ③土台としての学業 </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> PART II 運動部学生のための「学び方入門」 ①「講義」に関わるスキル（例：授業の準備、ノートの取り方など） ②「レポート」に関わるスキル ③両立のための時間活用法 ④両立のための集中力向上法 【特集】学業に関わる基礎用語集 </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> PART III 入学前に準備しておくべきこと 準備①：国語の基礎力 準備②：数学の基礎力 準備③：英語の基礎力 </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 巻末企画① 成長力を知る自己診断テスト </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> 巻末企画② 大学1年生ノート ①重要情報の記録のノート （例：履修や部活情報など） ②スケジュール帳 </div>	
どんなに優れた講義や教材があっても、当事者の学習意欲が低いままでは、学習効果は期待できません。 意欲向上のためには、「なぜ勉強するのか（WHY）」を、本人が納得しやすい方法と表現で伝えていく必要があります。		
「講義の受け方」「レポートの書き方」など、大学での基本的な「学びのスキル」の入門書となっています。		
学びの意欲があっても、「どう学ぶか（HOW）」を理解していないと、実際の学習行動にはつながりません。 「時間活用法」「集中力向上法」など、競技活動との両立に役立つスキルも盛り込むなど、運動部学生に最適な内容となっています。		
※巻末には、部活情報などの記録用ノートが付いており、常時携帯することで、学びをつねに意識させる仕掛けとなっています。		

② スポーツを題材にした取り組み易い教材の開発 「運動部学生のためのスポーツ探究数学入門(数学)」

特徴	スポーツシーンに絡めた題材 を用い、数理的な素養がいかにスポーツや関連分野において重要であるかを理解し、デュアルキャリア実現のために数理的な内容に対する興味を持ってもらうことを目的としています。 数字でスポーツを考える、はじめの一歩となる教材です。 アスリートの数学の学びなおしに最適です。									
教科・科目	<input type="checkbox"/> 数学 ※中・高校範囲									
■学習期間等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="background-color: #1a3d4d; color: white;">学習期間</td><td style="text-align: center;">3カ月</td></tr> <tr><td style="background-color: #1a3d4d; color: white;">学習回数</td><td style="text-align: center;">24回</td></tr> <tr><td style="background-color: #1a3d4d; color: white;">1回の想定学習時間</td><td style="text-align: center;">30分</td></tr> <tr><td style="background-color: #1a3d4d; color: white;">課題提出</td><td style="text-align: center;">3回（月1回）</td></tr> </table>	学習期間	3カ月	学習回数	24回	1回の想定学習時間	30分	課題提出	3回（月1回）	■課題提出方法 日々の課題を回答用紙に記入し、月に1回提出します スマホで撮影しての提出となりますので郵送の必要はありません
学習期間	3カ月									
学習回数	24回									
1回の想定学習時間	30分									
課題提出	3回（月1回）									
		■教材イメージ <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 2 スポーツと単位～長さ～ 日常生活やスポーツの記録に携わる多くの数学には単位があります。単位を正しく扱うためには、分・秒などの単位です。単位は「物の大きさ」を表し、換算するために必要です。これらに慣れて、基本的な単位について分かっていきましょう。何かが単位、ではあるのですが、授業開始から1週間、1次方程式などの基本的な計算も必要になってきます。 </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 1 ムートル法での長さ スポーツの世界では様々な長さの単位が使われます。その中で、私たちが普段使っているメートル法は、メートル(m)を基本とする単位です。 1キロメートル(km)=1,000m、1センチメートル(cm) 1ミリメートル(mm)=1,000マイクロメートル(μm)、1ナノメートル(nm) </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 3m フラッグフットボールのフィールドは100mです。これは1内五の長さ(5m)の何分の一ですか。 $3m = 20m \div 20,000 = 20,000 \text{分の} 3$ </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> 400m フラッグフットボール(42.195km)の距離は、陸上競技場のトラック(1周400m)何周分にあたるでしょうか。5分、0秒のタイムを目標として、小人数以下1組で見えてください。 ※実際の内容とは異なる場合があります </div>								

③ 中学～高校生レベルまでを対象とした AI 教材の導入

「Qubena 中高英語 by 河合塾(英語)」

特徴	AIが学習者の解答プロセスにかかわる様々な情報を収集、蓄積、解析し、一人ひとりの理解度に応じた 最適な問題 を出題していく、ICT教材。
教科・科目	<input type="checkbox"/> 英語 [読む・聞く・話す・書くの4技能] ※中・高校範囲

■ 3つのポイント

- アダプティブラーニング** →問題の正誤、解答時間、解説やヒントを見た回数などから分析
- 問題に応じた適切な解答方式** →選択式、タイプ入力、音声入力を採用
- ヒントや解説が充実** →アニメーション等によるヒント・解説で、自学自習を進めやすい

■ 教材イメージ

4つのサイクルを通して
英語4技能を
バランスよく学習

リーディング

リスニング

ライティング

スピーキング

④ 取り組むべき学習量を明確に設定できる教材の導入

「河合塾 One 基礎コース(英・数)」

特徴	膨大な河合塾Oneの教材の中から、 高校で学習した基本事項を3か月間で復習できるようにセレクトした教材 を提供するオンライン学習サービスです。
教科・科目	<input type="checkbox"/> 英語 [英文法] <input type="checkbox"/> 数学 [数学Ⅰ・A・Ⅱ・B] ※中学校の復習分野を含む

■ 3つのポイント

- コンスタントに学習** →1日の学習量が決まっているので続けやすい
- マルチデバイス対応** →パソコン・タブレット・スマートフォンで利用可
- 厳選されたコンテンツ** →高校の学習内容の基本事項を復習できる

[学習量]
各科目全24回(週2回×4週間×3か月間)
※各回の実習・テーマに沿って順番に学習

■ 教材の全体構成 (数学の例)

教科	ターム	講	トピック	コンテンツ
数学	第1ターム	第1講	2次関数のグラフ	基本事項解説 練習問題 練習問題解説
	第2ターム	第2講	2次関数の決定	
	2次関数の最大最小	
	第3ターム	第8講	...	

ターム	講	数学 分野(案)
1	1	1数と式① (Ⅰ)
	2	2数と式② (Ⅰ)
	3	3 2次関数① (Ⅰ)
	4	4 2次関数② (Ⅰ)
	5	5図形と計量① (Ⅰ)
	6	6図形と計量② (Ⅰ)
	7	7場合の数と確率① (A)
	8	8場合の数と確率② (A)
2	9	9データの分析 (Ⅰ)
	10	10図形の性質① (A)
	11	11図形の性質② (A)
	12	12整数の性質 (A)
	13	13式と証明 (Ⅱ)
	14	14複素数と2次方程式 (Ⅱ)
	15	15図形と方程式① (Ⅱ)
	16	16図形と方程式② (Ⅱ)
3	17	17三角関数 (Ⅱ)
	18	18指数関数・対数関数 (Ⅱ)
	19	19微分法・積分法① (Ⅱ)
	20	20微分法・積分法② (Ⅱ)
	21	21数列① (B)
	22	22数列② (B)
	23	23ベクトル① (B)
	24	24ベクトル② (B)

◆KEI アドバンスについて

URL : <http://www.keiadvanced.jp/>

概要: 教育を柱に、大学をはじめとする教育機関を支援する河合塾グループの会社です。学び続ける人の生涯価値の向上に貢献することをめざし、大学を対象とした広報支援や入試業務支援、教学支援ソリューションを展開するほか、大学生・社会人を対象に進学&就職をサポートする予備校「河合塾 KALS」を運営しています。

◆『UNIVAS』に関して

URL : <https://www.univas.jp/>

一般社団法人大学スポーツ協会は、文武両道の奨励の他、大学スポーツ界全体の統括と振興を目的に 2019 年 3 月に発足。学修環境の充実、安全・安心して競技に取り組める環境整備と共に、大学スポーツ全体の価値向上にむけて活動しています。

【本件に関する問い合わせ先】

◆株式会社 KEI アドバンス 入学前教育プログラム UNIVAS 担当

TEL:03-5276-2731 E-mail:univas_training@keiadvanced.jp